

事業報告書（概要版）

H30年度

施設名	新潟市母子生活支援施設ふじみ苑	
管理者名	社会福祉法人新潟市社会福祉協議会 所在地 新潟市中央区八千代1丁目3番1号 代表者 会長 関 昭一	
基本方針	DV被害をはじめ、様々な課題を抱えて入所してきた母子に対し、生活の安定と保護、自立促進のための支援を行う。また、退所後の地域での生活を含め、長期にわたり総合的に支援できるよう、母親の立場を尊重して信頼関係を築き、ともに課題を解決していく視点で、生活、子育て、就労などを多面的に支援する。	
運営組織	職員の配置 ・施設長 1名 ・母子支援員 2名 ・少年指導員 3名 ・嘱託医 1名	
業務の実施状況	自立支援計画の策定	定期的に担当職員(2名)が自立支援面談を実施。面談に基づき、全職員で支援内容の振り返りと検討を行い、自立支援計画の策定を行った。また、就学児童も同様に行った。
	利用者の要望意見の吸い上げ	母親集会での意見交換や、第三者評価の利用者アンケートにより、要望や意見をまとめた。
	苦情・要望に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・法人に第三者委員を2名を配置している。 ・意見箱を設置し無記名で意見を集約している。 ・要望やアンケート結果を施設運営に反映させた。 ・母親集会で意見や要望の返答をしたり周知している。
	緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの見直しや整備を行った。 ・事故防止の内部研修を行い事故防止マニュアルの確認を行った。 ・年一回不審者侵入時の訓練を行った。
	管理運営経費の縮減	2社以上の見積り合わせでの契約を原則とし、事務経費や光熱費の縮減に努めた。
	防災対策	月1回、火災・風水害・地震などを想定した避難訓練を実施した。
	個人情報保護	個人情報保護の内部研修を行い、方針を職員に周知・徹底し、業務の中でも常に意識することを心がけた。
	配置人員	保育士、社会福祉士、教員の有資格者を3名配置している。
	配置人員の資質向上	個人研修計画票を作成し、1人平均2回以上、研修等に参加し自己研鑽に努めるとともに職員の資質向上につなげた。